

平成 20年度第 9回武石地域協議会 会議次第

平成 21年 1月 29日(木)午後 7時 00分

武石公民館 第一会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 センター長あいさつ

4 報告事項

- ・ 激変緩和実施事業の意見書の回答について

- ・ 御柱祭 おねり保存事業の予算について

5 その他

《地域協議会全委員による研修会》

日程 3月 22日(日)午後

場所 信州国際音楽村ホール

内容 講師による講演

対象 上田市地域協議会委員、自治基本条例検討委員会委員

6 閉 会

20武地振第 153号
平成 21年 1月 22日

武石地域協議会
会長 桜井 敏昭 様

上田市長 母 袋 創 一

回 答 書

平成 20年 11月 6日付け武石地域協議会から提出のあった意見書について、
下記のとおり回答します。

記

- 1 件 名 市町村合併による制度統合にともなう激変緩和措置について
- 2 回答内容 別紙のとおり

別紙

回 答

新市の一体感の醸成という観点から、合併前の地域に特化した事業の見直しを図ることは必要なことですが、貴協議会よりご意見をいただいた事業は、いずれも旧武石村の当時から長期間にわたり継続してきた地域住民に深く浸透している地域の独特の制度であるため、制度を廃止ないし変更するに当たっては、市としても一定の周知期間や激変緩和措置が必要と考えます。

地域振興基金を使うことにより円滑に新制度への移行を図ることを提言された貴協議会の意見を重く受け止め、下記により激変緩和措置を行うことといたします。

記

激変緩和項目	激 変 緩 和 措 置
雲溪荘・うつくしの湯・番所ヶ原スキー場 武石住民利用補助	武石地域住民に限定した住民利用補助を廃止するに当たり、周知期間を平成 21 年度、22 年度とし、その間は、持ち寄り基金を用いて現行の補助制度を継続する。
土地改良負担金	土地改良事業地元負担は、平成 20 年 3 月 31 日改正の上田市土地改良事業分担金徴収条例施行規則によるが、武石地域においては、激変緩和措置として持ち寄り基金を用いて、施行規則別表の市営土地改良事業一般事業（農業用施設）については平成 24 年度までは負担率を 10 分の 0.75 とし、災害復旧事業（農業用施設）については平成 27 年度まで負担金を徴しないこととする。

（担当 武石地域自治センター地域振興課）

平成 20年 11月 6日

上田市長 母 袋 創 一様

武石地域協議会
会長 桜井 敏昭 印

意 見 書

上田市地域自治センター条例に基づき、下記のとおり地域協議会の意見を提出します。

記

1 件 名	市町村合併による制度の統合にともなう激変緩和措置について
2 意 見 内 容	平成18年3月6日の合併により旧市町村間で異なっていた制度の統合が図られていますが、円滑に統合を図るため、旧武石村で行われてきた制度の激変緩和措置を、別紙により旧武石村分の持ち寄り基金を用いて行うよう、武石地域協議会の意見として提出します。

武石地域自治センター 地域予算激変緩和事業一覧表

(千円)

番号	激変緩和項目	旧武石村の制度の概要	激変緩和の内容	激変緩和の期間	年間見込事業費	費用見込み総額
1	うつくしの湯武石住民利用補助	割引券による地域優待 15歳以上1人200円×5枚を配布	・武石地域の独自事業として地域予算を活用し激変緩和措置により期限付き事業とする。 ・住民が市税の納付状況調査承諾書を提出 ・市が市税の滞納がないことを確認し交付	・左記により優待を継続する。 ・平成20年から22年までの3年間を実施期間とする。	2,000	6,000
2	雲溪荘武石住民利用補助	割引券による地域優待 住民1人宿泊1,000円券、日帰り500円券各1枚を配布	同上	同上	2,000	6,000
3	雲溪荘武石高齢者利用券	割引券による地域優待 70歳以上1人6,000円の券を配布	同上	同上	3,000	9,000
4	土地改良事業負担金	条例上5%～25%の負担率、実質的には0%	・武石地域の独自事業として地域予算を活用し激変緩和措置により期限付き事業とする。 ・頭首工等改修事業負担金 0%	・左記により優待を継続する。 ・平成20年から27年までの8年間を実施期間とする。	1,000	8,000
5			・土地改良負担金の軽減 上田市一般負担率の1/2 7.5%	・平成20年から24年までの5年間を実施期間とする。	1,000	5,000
6	スキーリフト地域優待補助	申請による地域優待 1日券700円減免、回数券500円減免	・武石地域の独自事業として地域予算を活用し激変緩和措置により期限付き事業とする。	・左記により優待を継続する。 ・平成20年から22年までの3年間を実施期間とする。	1,200	3,600
	計				10,200	37,600

平成20年度 上田市わがまち魅力アップ応援事業 実績報告
 (個性あるふるさとづくり応援事業・1年目)

事業名	一里花桃の里、余里自治会整備事業		
団体名・代表者	余里自治会 自治会長 大平 将人		
事業の目的 及び概要	「余里の一里花桃」の名称で市内外に知られている花桃の植栽や管理を、余里自治会の事業として登録し、地域おこし団体の「花さか爺さんクラブ」と協力しながら、花桃の里の環境整備と地域の連帯感の醸成に努める。 自治会として取り組むことにより地域をあげて、いっそうの事業展開ができる。		
事業の成果	7、8、11月に草刈り、草むしりを実施。 1. 草刈り、枝打ち、補植 2. 草むしりによる苗木の育成 3. 懇親会による地域の親睦を深めた		
事業実施期間	平成20年7月10日～12月26日		
総事業費	192,530円	補助額	130,000円
補助金の使途	消耗品費	18,740	刈り払い機用チップソー、鎌、作業用皮手袋、長靴

平成20年度 上田市わがまち魅力アップ応援事業 実績報告
 (特色あるまちづくり応援事業)

事業名	『見よ美しい歌』伝承・文化交流事業		
団体名・代表者	武石音頭・武石小唄を愛し保存する会 会長 清住 崇之		
事業の目的及び概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 武石地域で永く歌われ引き継がれてきた『見よ美しい歌』の伝承 ・ この歌の作曲者である、坊田かずまの生誕地、広島県熊野町との交流 ・ この曲の縁で結ばれた、青い鳥の会のコンサートを通じての市民交流 ・ 武石夏祭りの一環行事としての話題性と盛り上がりへの相乗効果 		
事業の成果	<p>8月12日『青い鳥の会コンサート in 武石2008 坊田かずまの世界～八十年目の再会～』を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 永く継承されてきた地域文化の伝承と啓発が図られた。 ・ 『見よ美しい歌』を通じ、この歌の縁で結ばれた青い鳥の会、広島県熊野町坊田かずまの会とのコンサートでの交流が図られた。 ・ コンサート開催の話題性により、夏祭りにいっそうの盛り上がりが見られ、地域活性化への相乗効果が図られた。 ・ 地域住民に一流音楽家のすばらしい合唱や演奏を楽しんでいただけた。 ・ 『見よ美しい歌』の作詞者である地域出身の親族と作曲者の親族との感動の再会が実現し、これが報道等に取り上げられ話題性を呼び、本事業の目的達成と効果が図られた。 		
事業実施期間	平成20年8月11日～8月12日		
総事業費	230,000円	補助額	200,000円
補助金の使途	原材料費	58675	コンサート横断幕、会場用花
	消耗品費	6865	カセットテープ、ファイル、会場用飾り等
	謝金	20000	演奏者謝金
	旅費・交通費	26260	演奏者交通費
	印刷製本費	79000	コンサートチラシ・プログラム等作成
	通信費	9200	琴搬送代

平成20年度 上田市わがまち魅力アップ応援事業 実績報告
(特色あるまちづくり応援事業・1年目)

事業名	ヒカリ苔輝く美ヶ原焼山沢登山道整備事業		
団体名・代表者	武石山岳会 金井 善男		
事業の目的 及び概要	<p>目的 焼山沢登山道の整備管理、登山者の安全確保、並びにヒカリ苔をはじめとする美ヶ原の貴重な植生保護を図ること</p> <p>概要 案内板道標の設置、登山道の補修付け替え、危険箇所へのロープ設置</p>		
事業の成果	<p>概要 この事業により、焼山沢登山道を利用して美ヶ原へ登る登山者の安全がより高められた。また、多くの方が焼山沢の渓谷美や天然記念物のヒカリ苔に接する機会が容易になった。</p> <p>具体的成果 (1) 登山口にルート図、説明を入れた案内板を設置 (2) 台風災害による崩壊地の横断箇所役25メートルと滑落危険のある2箇所5～10メートル間に鉄杭、ハーケンを打ち込み、安全通過のための固定ロープを設置 (3) 危険、迷いやすい箇所、ヒカリ苔案内等の道標設置10箇所 (4) 谷川沿いの底部を洗掘された登山道の山側への付け替え約20メートル他整備</p>		
事業実施期間	平成20年7月8日～平成21年1月13日		
総事業費	256,077円	補助額	208,000円
補助金の使途	原材料費	110062	ロープ、案内板・柱、道標板、ハーケン他
	消耗品費	48790	印刷代、皮手袋、ナタ鎌、ツルハシ、ノコギリ他
	使用料及び賃借料	29400	重機借上げ
	通信費	7325	はがき、振込手数料
	保険料	12750	山岳保険

平成20年度 上田市わがまち魅力アップ応援事業 実績報告
(特色あるまちづくり応援事業)

事業名	武石早起き野球連盟40周年記念! 100周年以上まで続くように将来の会員を育てようプロジェクト		
団体名・代表者	武石早起き野球連盟 会長 下城 武司		
事業の目的 及び概要	<p>ここ数年、武石早起き野球連盟の加入チーム数が減少と武石地域の子どもたちは野球離れが進んでいる現状である。</p> <p>そこで長野県にできた野球チーム「グランセローズ」の選手を迎え、プロのプレーを間近で見たり指導を受けることで、子どもから大人まで野球に興味ももってもらったり野球をもっと好きになってもらい、将来一緒にプレーできるような早起き野球連盟の会員を育て地域コミュニティーの核として活動していきたい</p>		
事業の成果	<p>11月3日 信濃グランセローズ野球教室 11月15日 野球をしていない子どもを対象にした野球教室</p> <p>信濃グランセローズ野球教室当日は、小中学生11チーム152名、一般参加者40名、見学者約100名が参加していただき、練習内容によってはチームや地域を超えた交流もあり、より新市が一体となった場面もありました。予定終了時刻を1時間以上越えているにもかかわらず、参加者からは苦情などせず選手と交流したりして野球に興味ももってもらったり、もっと好きになってもらえたと思います。</p> <p>また、11月15日に武石小学校の子どもたちを対象とした野球教室では、初めての子から女の子までの30名が参加してくれ、グランセローズから学んだことを生かして野球に親しんでもらい楽しんでもらえました。</p> <p>毎年この活動を続けていくことで、一人でも多くの子どもが将来一緒にプレーできることを願っています。</p>		
事業実施期間	平成20年 7月 8日から平成21年 1月29日まで		
総事業費	711,031円	補助額	630,000円
補助金の使途	消耗品費	155546	バット、ボール、看板作成他
	謝金	350735	信濃グランセローズ謝礼
	使用料及び賃借料	15000	総合グラウンド使用料、車借用代
	通信費	10000	はがき、切手
	備品購入費	100000	バット等保管倉庫